

福祉団体活動紹介

市内で行われた
福祉団体活動を紹介します。

老人
クラブ

紅葉を楽しみながら健康づくり ～健康ウォーキング大会～

11月4日(木) 引原ダム(音水湖)周辺



宍粟市老人クラブ連合会では、会員の健康づくりと交流を目的とした新たな取り組み、「健康ウォーキング大会」を開催し、124名が参加しました。

最初に引原にある長源寺で平岡保健師から健康づくりと歩き方の講話を聴いた後、音水湖さざなみ公園からダム堰堤に向けて出発しました。当日はお天気がよく、またダム湖周辺では紅葉が大変美しく、参加者は気分良く3.6キロを歩くことが出来ました。

老人クラブ連合会では、今後もこのような健康づくりに役立つ取り組みをさらに増やしていきたいとのことです。

(本部:福田真友巳)

婦人
共励会

愛と笑いと健康を! ～若年母子家庭のつどい～

11月7日(日) 一宮保健福祉センター



婦人共励会はシングルマザーの会で、母子家庭や寡婦が安心して暮らせる社会の実現をめざして活動しています。

宍粟市婦人共励会では、今年当番地区として「西播磨ブロック若年母子家庭のつどい」を親子96名の参加のもと一宮保健福祉センターで開催しました。

つどいでは、福島利華さん(元気にここにこ友の会代表)を講師に招き、健康のお話やグループ体操など会員同士が笑顔で交流を深め、終始楽しい時間を過ごしました。今後も、婦人共励会では、親子のふれあいや仲間づくりを目的とした取り組みを進めていきます。

(本部:猪尾公子)

身体
障害者
協会

グラウンドゴルフで交流 ～第5回宍粟市ふれあい活動～

11月28日(日) 御形公園グラウンド



会員がともに参加できる楽しい企画や活動を…

宍粟市身体障害者福祉協会では、会員同士の交流を目的にグラウンドゴルフ大会(ふれあい活動)を毎年行っています。5回目となる今年は、一宮支部が当番支部として準備運営を行い、当日は44名の会員が参加。「ナイスショット!」「2回で入ったで。」など、コースのいたるところで歓声や笑い声が聞かれました。優勝は、村井繁さん(一宮町)。

来年は、波賀支部を会場に熱戦がくり広げられます。

(本部:猪尾公子)

障がい者
作業所

「焼き上がりが楽しみです」 ～陶芸教室でお皿や花瓶を製作～

12月1日(水) NPO法人あおぞら太陽の家



「初めてやけどやりだしたら楽しい。」「焼き上がりが楽しみです。」…あおぞら太陽の家(山崎町岸田)は、現在17名の障がい者が利用しています。この日は、工房「遊目」(姫路市)の指導により陶芸を体験。「陶芸は初めての試みです。利用者の人たちにいろんな経験をしてほしい。」と杉本施設長。利用者みなさんは日頃の作業に加え、リハビリや趣味、楽しさを兼ねた取り組みを味わいました。この記事を見る頃には、世界にひとつだけの作品が見事に焼き上がっていることと思います。

(本部:一宮支部 波多野好則)